



## 2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月9日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4992 URL https://www.hokkochem.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 健一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 綿井 聡 TEL 03-3279-5152  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月10日 配当支払開始予定日 2020年8月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年11月期第2四半期の連結業績（2019年12月1日～2020年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	24,270	△3.6	2,183	△8.9	2,705	△5.3	1,966	△5.6
2019年11月期第2四半期	25,168	△2.3	2,397	△5.1	2,858	△6.8	2,084	△3.6

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 2,475百万円 (80.7%) 2019年11月期第2四半期 1,370百万円 (△36.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	72.60	—
2019年11月期第2四半期	76.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	53,286	28,573	53.6
2019年11月期	43,398	26,356	60.7

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 28,573百万円 2019年11月期 26,356百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	7.50	—	9.50	17.00
2020年11月期	—	9.00	—	—	—
2020年11月期（予想）	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年11月期の連結業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	3.6	3,000	3.4	3,800	1.3	2,850	1.1	105.23

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期 2 Q	29,985,531株	2019年11月期	29,985,531株
② 期末自己株式数	2020年11月期 2 Q	2,903,317株	2019年11月期	2,903,155株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期 2 Q	27,082,287株	2019年11月期 2 Q	27,082,487株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結貸借対照表関係) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により急速に悪化し、厳しい状況にあります。景気の先行きについては、終息時期が見通せない国内外の新型コロナウイルス感染症が世界経済に与える影響や、金融資本市場の変動等による影響を注視する必要があり、依然不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、本年が最終年度にあたる3ヵ年経営計画「HOKKO Growing Plan 2020」の仕上げに向けて、新製品の普及や新規受託品の受注活動に注力しております。

当第2四半期の業績は、農薬事業における販売が減少したことから、売上高は242億7千万円（前年同期比8億9千8百万円の減少、同3.6%減）となりました。

利益面では、売上が減少したことにより、営業利益は21億8千3百万円（前年同期比2億1千3百万円の減少、同8.9%減）となりました。経常利益は、為替差損の減少等により、27億5百万円（前年同期比1億5千3百万円の減少、同5.3%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、19億6千6百万円（前年同期比1億1千7百万円の減少、同5.6%減）となりました。

事業別の状況は以下のとおりです。

## 〔農薬事業〕

農薬製品の売上高は、主に国内販売において、流通在庫の影響や、海外からの原材料の入荷遅れに伴う生産・出荷の遅れなどにより、前年同期比で減収となりました。この結果、本セグメントの売上高は172億3千1百万円（前年同期比16億9千3百万円の減少、同8.9%減）となりました。営業利益は、売上が減少したことにより、8億8千1百万円（前年同期比4億8千2百万円の減少、同35.3%減）となりました。

## 〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の売上高は、主に電子材料、医農薬、樹脂等の主要分野での販売が増加したことから、前年同期比で増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は63億4千1百万円（前年同期比1億8百万円の増加、同1.7%増）となりました。営業利益は、高利益品目の売上構成比の上昇などにより、13億8百万円（前年同期比2億6千2百万円の増加、同25.1%増）となりました。

## 〔繊維資材事業〕

前第2四半期連結累計期間より報告セグメントとして「繊維資材事業」を追加しております。なお、同報告セグメントの業績は、前第2四半期連結損益計算書には含まれておりません。

本セグメントの売上高は、6億8千8百万円、営業損失は3百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は532億8千6百万円となり、前連結会計年度末比98億8千8百万円の増加となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加が主な要因です。

負債の残高は247億1千3百万円となり、前連結会計年度末比76億7千1百万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加が主な要因です。

純資産の残高は285億7千3百万円となり、前連結会計年度末比22億1千7百万円の増加となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、57億8千7百万円の支出超過(前年同期は54億2千9百万円の支出超過)となりました。これは、主に売上債権の増加によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、16億1百万円の支出超過(前年同期は15億4千7百万円の支出超過)となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、82億5千3百万円の収入超過(前年同期は69億3千3百万円の収入超過)となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものです。

## (現金及び現金同等物の四半期末残高)

現金及び現金同等物の四半期末残高は期首残高より5億8千万円増加し、17億6千5百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月期の連結業績予想につきましては、2020年1月14日公表の連結業績予想から変更はありません。

現状、新型コロナウイルス感染症の影響は、2020年後半には収束し、2021年には経済状況は改善に向かうと仮定しております。

当社の連結業績予想に対する新型コロナウイルス感染症に関する影響は軽微と考えており、今後公表すべき事実が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	904	1,765
受取手形及び売掛金	11,243	22,940
商品及び製品	10,751	8,003
仕掛品	478	404
原材料及び貯蔵品	4,529	4,654
その他	463	302
流動資産合計	28,368	38,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,841	4,664
機械装置及び運搬具(純額)	3,278	2,992
土地	970	966
その他(純額)	552	533
有形固定資産合計	9,640	9,156
無形固定資産	619	575
投資その他の資産		
投資有価証券	4,499	5,267
繰延税金資産	56	11
その他	239	232
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	4,771	5,488
固定資産合計	15,030	15,219
資産合計	43,398	53,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,019	6,387
短期借入金	287	7,944
1年内返済予定の長期借入金	500	300
未払費用	3,369	2,718
未払法人税等	499	984
返品調整引当金	36	7
その他	2,973	2,006
流動負債合計	13,682	20,346
固定負債		
長期借入金	450	1,500
退職給付に係る負債	2,727	2,650
その他	183	217
固定負債合計	3,360	4,367
負債合計	17,042	24,713
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	18,970	20,679
自己株式	△1,310	△1,310
株主資本合計	23,482	25,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,243	2,805
為替換算調整勘定	79	51
退職給付に係る調整累計額	551	525
その他の包括利益累計額合計	2,873	3,382
純資産合計	26,356	28,573
負債純資産合計	43,398	53,286

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## (四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
売上高	25,168	24,270
売上原価	18,792	18,084
売上総利益	6,376	6,185
販売費及び一般管理費	3,979	4,002
営業利益	2,397	2,183
営業外収益		
受取利息及び配当金	423	437
受取手数料	134	138
その他	48	58
営業外収益合計	605	634
営業外費用		
支払利息	27	28
為替差損	87	52
その他	30	32
営業外費用合計	145	112
経常利益	2,858	2,705
特別利益		
固定資産売却益	8	44
投資有価証券売却益	-	2
特別利益合計	8	46
特別損失		
固定資産除却損	11	21
その他	-	11
特別損失合計	11	32
税金等調整前四半期純利益	2,854	2,719
法人税等	771	753
四半期純利益	2,084	1,966
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,084	1,966



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	2,084	1,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△691	562
為替換算調整勘定	△9	△28
退職給付に係る調整額	△14	△26
その他の包括利益合計	△714	508
四半期包括利益	1,370	2,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,370	2,475

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,854	2,719
減価償却費	606	733
のれん償却額	—	19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	31	△114
受取利息及び受取配当金	△423	△437
支払利息	27	28
固定資産除却損	11	21
固定資産売却益	△8	△44
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,784	△11,706
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,047	2,685
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,869	372
未払金の増減額 (△は減少)	14	△257
未払費用の増減額 (△は減少)	△568	△647
未払消費税等の増減額 (△は減少)	43	694
その他	103	198
小計	△5,177	△5,735
利息及び配当金の受取額	425	437
利息の支払額	△26	△31
法人税等の支払額	△650	△459
法人税等の還付額	0	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,429	△5,787
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	—	21
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△290	—
有形固定資産の取得による支出	△1,258	△1,664
有形固定資産の売却による収入	10	46
無形固定資産の取得による支出	△2	0
その他	△7	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,547	△1,601
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,559	7,660
長期借入れによる収入	—	1,200
長期借入金の返済による支出	△1,383	△350
配当金の支払額	△242	△257
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,933	8,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△75	861
現金及び現金同等物の期首残高	1,259	904
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,184	1,765

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

**【偶発債務】**

当社は、2020年2月20日に、海外の化学品メーカーから、当社が販売した混合剤に使用している農薬原体が同社の特許権を侵害するとして、約461百万円の損害賠償の請求を受けております。

当社では、当該損害賠償の請求に関し、その検証の過程で一部時間を要している部分があるものの、請求内容の合理性、妥当性その他の事項の精査・確認を継続しております。

今後の推移によっては、当該事象が当社グループの経営成績に影響を及ぼす可能性はありますが、その影響額を合理的に見積もることは困難であると判断しております。そのため、当該影響額は、当第2四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表へ反映しておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,924	6,233	25,157	11	25,168	—	25,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	185	185	△185	—
計	18,924	6,233	25,157	195	25,353	△185	25,168
セグメント利益	1,363	1,046	2,409	9	2,418	△21	2,397

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する事項

村田長株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、新たに追加した「繊維資材事業」において1,208百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントごと固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

村田長株式会社を連結の範囲に含めたことにより、「繊維資材事業」におけるのれんが388百万円増加しております。

## II. 当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,231	6,341	688	24,260	10	24,270	—	24,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	201	201	△201	—
計	17,231	6,341	688	24,260	210	24,470	△201	24,270
セグメント利益	881	1,308	△3	2,187	6	2,193	△9	2,183

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去額10百万円およびのれんの償却額△19百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、村田長株式会社の株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、新たに報告セグメントとして「繊維資材事業」を追加しております。

なお、報告セグメントの変更が、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報に与える影響はありません。